

横須賀商工会議所が市の人口減少を食い止めるために立ち上げた新組織「新生・横須賀実践フォーラム」が、初めての全体会議を開いた。地域再生の専門家3人からの提言もあり、横須賀の新生に向けて関係者の意思統一を図った。先頭に立つ平松廣司会頭に手応えを聞いた。

(岡部 伸康)

「フォーラムは順調なスタートを切ったようだ。」

「市の一番の課題である人口流出防止のために産業界として行動を示そうと立ち上げた。走りながら考えてすぐに行動に移す、とここまでやってきた。来てみたい街、住んでみたい街になるため、今の横須賀をどう見ているか、高校生、女性、団塊の世代など市民各層から意見を聞いている。」

「市民の声を聞き感ずることは何か。」

「横須賀の魅力は皆さんが感じており、しかも改善したい強い思いがある。これまで強い思いを言う所がなかった。産業界が受け皿になればさまざまな発見があるはずだ。」

平松商議所会頭

新生・横須賀実践へ

「思い」受け止め



新生・横須賀への意欲を語る平松会頭
—横須賀市大滝町

「3人の提言で印象に残った」として間違っていないか、と今後の進め方は。

「横須賀にとって『海軍』は宿命。明治維新から150年近くなつた今、明治の歴史をここから知らせることも大事だ。第2段階としてプライドの裏付けのある横須賀のブランドをつくり、『こうしたら、こんないい結果が出た』という具体的な内容にしたい。」

地域再生へ

3人が提言

「市民として誇りを持つ街」をビジョンに掲げた新生・横須賀実践フォーラムは昨年10月に設立した。「自慢できる」「夢が持てる」「働きたいがある」横須賀を実現することを目指している。



人口流出防止について話し合った「新生・横須賀フォーラム」全体会議。横須賀商工会議所(同会議所提供)

を吸い上げ、実行委員会で事業化を図っていく。

全体会議は2月23日、横須賀市平成町の横須賀商工会議所で開かれ、会員ら約60人が聴講した。アドバイザーの地域再生の専門家3人による講演会、パネルディスカッションが行われた。

3人の提言は次の通り。
須田 寛氏(日本商工会議所観光委員会共同委員長)「観光とはお国自慢。自慢したくなる横須賀の文化を見つけ出すことだ。『海軍』『軍艦』は価値あるブランド」

丁野 朗氏(日本観光振興協会常務理事・総合調査研究所長)「地域や経済の活性化は街の人のプライドがあつて成立する。プライドの裏付けがないブランドは意味がない」

御園慎一郎氏(元地域再生担当内閣審議官)「街づくりで大切なのは『自主』『自立』『自考』。自分で責任を持って実行しなければうまくいかない」